

特集2

みんなで紡ごう！地域のつながり コミセンのすすめ

市内に分館を含めて19館ある「コミュニティセンター＝コミセン」。
その運営を担っているのは、地域に住む
ボランティアの方々（コミュニティ協議会）です。
協議会の皆さんによる自由で幅広い活動が、
地域での顔の見える多様なつながりを生み出しています。
あなたもコミュニティづくりに参加してみませんか？



市民がつなぐ コミセンの歴史

コミュニティづくりの原点 「コミュニティ構想」

昭和46年、武蔵野市のコミュニティ活動の基盤となる「コミュニティ構想」が市の長期計画で公表されました。戦後GHQにより解散・廃止を求められた全国の自治会の多くは、主権が回復すると復活しましたが、武蔵野市では全市的な自治会の仕組みを復活させようという動きがみられませんでした。旧来の近隣関係ではない新しい形のコミュニティを模索する中で、武蔵野市では「コミュニティ構想」として「コミュニティは上から強制してつくるものではなく、市民自身が育んでいくもの」という基本理念が打ち立てられ、“地域住民が自由な意思で参加できる”コミュニティの拠点としてコミセンが設立されました。

市民の手による市民のための コミセンが誕生

昭和51年7月に第1号である境南コミセンが完成。以降、各地区に順次コミセンが整備されました。「自主参加・自主企画・自主運営」の自主三原則を柱に、地域住民が施設の設計段階から主体的に関わり、地域ボランティアで構成するコミュニティ協議会の手で、特色あるコミセンの運営とコミュニティづくりが今日まで継続してなされています。地域のニーズを踏まえ、設備から事業内容、使用のルールまで、各館で意見を出し合って決めていため、館ごとに異なる部分があるのも、武蔵野市のコミセンらしさといえます。

今回お邪魔したのは

西部コミュニティセンター

[所在地] 境5-6-20 [TEL] 0422-56-2888

私がご案内
します！

コミセンでの
コミュニティづくりを
のぞいてみましょう



ボランティアでコミセンの運営に携わる運営委員の活動は、こまごまとした日々の仕事も含めて、コミュニティづくりの土台です。企画の提案も大歓迎。人と人がつながって、やりたいことを形にしていく楽しさはやりがいもあります。まずは、お近くのコミセンに足を運んで、どんなことをしているのかぜひ知っていただけたらと思います。

西部コミュニティ協議会 大上茂雄 会長

ボランティアの運営委員による、日々のコミュニティづくり



貸し出し用ゲームや1杯100円のコーヒーサービスも用意されたロビーは多世代の憩いの場。窓口担当の運営委員は、受付や質問対応だけでなく、ロビーに出て利用者とおしゃべりすることも。地域住民同士の気取らないコミュニケーションを心掛けています

利用者との
触れ合いも楽しみ
の一つです



トラブルがないか随時館内を見回り



「こんな活動に興味ありませんか？」と
利用者に声掛けも行います



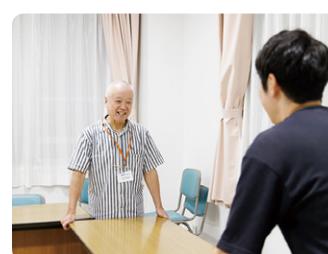
バドミントンや卓球などが楽しめる体育室も西部コミセンの特徴。子どもの利用も多いため、西部コミセンでは小・中学生専用の「子どもの時間」を設定しています



地域の特性に合わせて、使い方のルールを日々検討します



視聴覚室にドラムを設置するなど、多様なニーズに応える工夫を重ねています



利用者と運営側の
垣根が低い場です！

利用者が壊れた備品を直してくれたり、一緒に物を運んでくれたりすることも。利用者との支え合いでコミセンは運営されています。



地域の課題について、関係地域団体や住民、必要に応じて市職員も参加して話し合う「地域フォーラム」を開催

楽しいイベントやボランティア募集の情報が載っています！



年4回発行の広報紙「西部コミセンニュース」の作成とポスティングもみんなで分担。ポスティングだけ協力できる方も募集中です

地域に向けたいろいろな事業を企画・運営しています。この日は、中高生の“家でも学校でもない”自由に過ごせる居場所づくりを目指して今年6月にスタートした「缶バッヂカフェ」が行われていました



月に1回開催している運営委員会で、アイデアをどう実現するかを話し合っています



やりたいことがあれば声を掛けてください。一緒に地域を盛り上げましょう！



「西部コミセン文化祭」でのワークショップ。利用者との雑談から面白い事業が生まれることもあるのだそう



自分の興味や得意を持ち寄り、企画を考える。「味噌づくり体験」は人気のイベントに

子どもたちが地域の人に見守られながら育っていけるよう、地元に知り合いを増やしたいと考えて運営委員になりました。今注力しているのは、自分で企画を立ち上げた「缶バッヂカフェ」の運営です。今後は大学生にもサポートに入ってもらいたいと思っており、ここを起点に若い人たちへコミュニティの輪が広がっていくことを期待しています。

西部コミュニティ協議会 運営委員 川口さん



コミセンの施設一覧



コミセンを使ってみたい方や関わってみたい方は、ぜひふらっと訪ねてみてください。

詳細は[こちら](#)

施設名	所在地	電話番号	休館日	*年末年始は各館休館
吉祥寺東コミセン	吉祥寺東町1-12-6	0422-21-4141	第4水曜	
本宿コミセン	吉祥寺東町3-25-2	0422-22-0763	木曜	*令和7・8年度の一部期間、工事のため長期休館
吉祥寺南町コミセン	吉祥寺南町3-13-1	0422-43-6372	第2・4・5水曜	*令和8年度に仮移転
御殿山コミセン	御殿山1-5-11	0422-48-9309	月曜	
本町コミセン	吉祥寺本町1-22-2	0422-22-7002	日曜	
吉祥寺西コミセン	吉祥寺本町3-20-17	0422-55-3297	木曜	*令和7・8年度の一部期間、工事のため長期休館
吉祥寺西コミセン分館	吉祥寺本町4-10-7	0422-55-3297	木曜	*令和7・8年度の一部期間、長期休館
吉祥寺北コミセン	吉祥寺北町1-22-10	0422-22-7006	月曜	
けやきコミセン	吉祥寺北町5-6-19	0422-54-8719	水曜	*令和8・9年度の一部期間、工事のため長期休館
中央コミセン	中町3-5-17	0422-53-3934	水曜	*令和8年度の一部期間、工事のため長期休館
中央コミセン中町集会所	中町1-28-5	0422-53-2251	水曜	
西久保コミセン	西久保1-23-7	0422-54-8990	第3月曜	
緑町コミセン	緑町3-1-17	0422-53-6954	月曜	
八幡町コミセン	八幡町3-3-16	0422-54-0169	火曜	
関前コミセン	関前2-26-10	0422-51-0206	木曜	
関前コミセン分館	関前3-16-6	0422-51-0206	木曜	
西部コミセン	境5-6-20	0422-56-2888	木曜	
境南コミセン	境南町3-22-9	0422-32-8565	第1・3・5金曜	
桜堤コミセン	桜堤3-3-11	0422-53-5311	火曜	



約半世紀にわたって地域住民のボランティアによりコミセンの運営が継続されてきたことは、全国的にも類がなく、武蔵野市の誇りだと思っています。利用者も運営者も市民であるから成り立つ、持ちつ持たれつの関係こそコミュニティの基本であり、守るべきもの。全館に地域性を反映した特徴があり、均質的な行政サービスにはない人間くささも、唯一無二の「武蔵野市のコミセン」といえるのではないかでしょうか。

コミュニティの維持・発展のために、各コミセンが多彩な事業を展開しています。地域で楽しく豊かに暮らしていくために、ぜひいろいろな人と顔が見える関係をつくりましょう。その一つのきっかけがコミセンにありますよ。

武蔵野市コミュニティ研究連絡会 町田敏会長

吉祥寺南町コミュニティ協議会で委員長を務める。25年前に始めた素人おやじジャズバンド Musashino Jazz Orchestra (MJO) でパリトンサックス担当。